

平成27年度事業評価シート(一般予算) ※26年度予算事業による

事業名	95100	スポーツライフ推進事業費			担当課	市民活動部 スポーツ推進課	内線
	種別						2357
予算	会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9	教育費	分野	3	スポーツ	
	項	5	保健体育費	基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる	
	目	1	体育総務費	施策	1	スポーツ活動の充実	
根拠計画	高山市第三次スポーツ振興基本計画						
実施計画事業	スポーツライフ推進事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	90,938 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	スポーツ教室やスポーツ大会の開催により、スポーツにふれあう機会を創出する 有名選手とのふれあいにより、子どもたちに夢を与え、スポーツに取り組むきっかけづくりを行う		
概要	事業の実施手法(手段)	スポーツ教室やスポーツ大会等の開催 子ども夢創造事業の実施		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26の実績	各種スポーツ大会や教室の実施 FC岐阜及び飛騨高山ブラックブルズ岐阜との連携事業の実施 子ども夢創造事業の実施(バドミントン)					
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	大会や教室の開催回数	回	目標値	90	100	100
				実績値	111	125	141
				算出根拠等	達成率(%)	123	125
	成果指標	大会や教室の参加者数(のべ人数)	人	目標値	11,200	13,000	13,000
				実績値	11,227	13,482	12,747
				算出根拠等	達成率(%)	100	104
	補足事項			目標値			
				実績値			
				算出根拠等	達成率(%)		
				目標値			
				実績値			
				算出根拠等	達成率(%)		
	コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 決算額	
歳出(千円)		(A)	2,260	3,909	4,033		
受益者負担(使用料・負担金等)							
その他特定財源(国・県支出金・起債等)			500				
一般財源			2,260	3,409	4,033		
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)	201	290	316		
	受益者	参加者	(B)	11,227	13,482	12,747	

3 分析・評価(Check) ※平成26年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	生活スタイルの多様化や健康志向の高まりなどから、スポーツに対する市民のニーズは年々高まっている
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	スポーツに親しむ環境を作るため、スポーツに親しむきっかけづくりやふれる機会の拡充を図る必要がある ・市が事業主体となっている事業(子ども夢創造事業)について、見直した結果、団体等へ委託実施した
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	参加者数は減少したが、目標とする指標を達成できた
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	A	事業委託を増やすなど、コスト削減に努めた ・子ども夢創造事業では関係団体への委託により、事業の効率化・コスト削減ができた
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	スポーツ教室等の開催を通して、スポーツに親しむ機会が創出されるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成にある程度効果があった
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		
合計		8 / 10	→	100点換算 80 点

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	費用対効果を考え、集客手法やPRの工夫などについて検討する必要がある ・関係団体との連携による事業推進をさらに進める必要がある
--	--

(参考) H26事業評価結果(二次評価)	市民ニーズに対応したスポーツ教室の開催等参加者の増加に努める必要がある ・子ども夢創造事業の効果分析を行う必要がある
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する27年度の対応状況	スポーツ教室等事業や子ども夢創造事業等の参加促進のPR強化に努める
------------------	-----------------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H26完了	H27完了予定
	市民ニーズに合ったスポーツ教室等の展開について検討していく。					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H26完了	H27完了予定
	市民ニーズに対応したスポーツ教室の開催等、参加者の増加に努める必要がある。					

平成27年度事業評価シート(一般予算) ※26年度予算事業による

事業名	95110	スポーツ推進委員会事業費	担当課	市民活動部 スポーツ推進課	内線
	95110				2357
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして
	款	9 教育費		分野	3 スポーツ
	項	5 保健体育費		基本施策	1 誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
	目	1 体育総務費		施策	1 スポーツ活動の充実
根拠計画	高山市第三次スポーツ振興基本計画				
実施計画事業	スポーツ推進委員会事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	90,938 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	スポーツ基本法第32条に規定されているスポーツ推進委員活動を推進する		
概要	事業の実施手法(手段)	スポーツ推進委員の活動経費		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26の実績	スポーツ推進委員の委嘱					
	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	スポーツ推進委員会の行事・会議の開催回数	回	目標値	60	60	60
				実績値	69	68	68
				算出根拠等	達成率(%)	115	113
	成果指標	スポーツ推進委員会の行事・会議の参加者数	人	目標値	1,500	1,500	1,500
				実績値	1,665	1,684	1,680
				算出根拠等	達成率(%)	111	112
				目標値			
				実績値			
				算出根拠等	達成率(%)		
				目標値			
				実績値			
				算出根拠等	達成率(%)		
				目標値			
実績値							
算出根拠等				達成率(%)			
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 決算額		
	歳出(千円)		(A) 7,987	7,566	7,904		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		7,987	7,566	7,904		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 86	82	86		
	受益者 全市民		(B) 92,861	92,097	91,605		

3 分析・評価(Check) ※平成26年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・市民の健康志向やスポーツニーズの高まりや地域スポーツ活動の充実に向けて、スポーツ推進委員の役割はますます重要となっている
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・スポーツ基本法に基づく委員である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	・活動・成果指導の目標値を概ね達成している
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	A	・経費の大部分がスポーツ推進委員の報酬である
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	・スポーツ推進委員の活動を通して、スポーツ参加機会の創出やスポーツ活動の活性化が図られるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成にある程度効果があった
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・スポーツ推進委員と地域スポーツ活動との関わり方の充実を図る必要がある
--	-------------------------------------

(参考) H26事業評価結果(二次評価)	・スポーツ基本法第32条に規定されているスポーツ推進委員活動を推進する
----------------------	-------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する27年度の対応状況	・まちづくり協議会とスポーツ推進委員との関わり方についての検討していく
------------------	-------------------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	・スポーツ推進委員活動を継続実施することにより、健康増進のためのスポーツ機会を創出する					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	(担当課評価に同じ)					

平成27年度事業評価シート(一般予算) ※26年度予算事業による

事業名	95125	スポーツ少年団育成補助金		担当課	市民活動部 スポーツ推進課	内線	2357
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
	款	9	教育費		分野	3	スポーツ
	項	5	保健体育費		基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
	目	1	体育総務費		施策	1	スポーツ活動の充実
	根拠計画	高山市第三次スポーツ振興基本計画					
実施計画事業	地域スポーツ活動推進事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	90,938 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	スポーツ活動を通じて、青少年の健全な育成を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	スポーツ少年団活動に対する支援		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26の実績	スポーツ少年団活動の実施					
	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	団活動の年間回数	回	目標値	27	27	27
				実績値	26	21	20
		算出根拠等	達成率(%)	96	78	74	
	成果指標	参加者数(団員数)	人	目標値	1,710	1,710	1,710
				実績値	1,609	1,495	1,389
		算出根拠等	達成率(%)	94	87	81	
				目標値			
				実績値			
		算出根拠等	達成率(%)				
				目標値			
				実績値			
		算出根拠等	達成率(%)				
				目標値			
実績値							
算出根拠等		達成率(%)					
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 決算額		
	歳出(千円)		(A)	750	750	750	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			750	750	750	
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	466	502	540	
	受益者	団員数	(B)	1,609	1,495	1,389	

3 分析・評価(Check) ※平成26年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・スポーツ少年団活動は、スポーツを通じた青少年の健全な育成を図るための重要な活動であり、市民ニーズは高い
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・少年期にスポーツ活動に取り組める環境を整備することは、青少年の健全育成はもとより、生涯スポーツ社会の実現の基礎を築くものであり、活動を支援する必要がある
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	・活動及び、成果指導の目標値をやや下回った ・団員数の減少は少子化の影響が大きいと考えられる
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	・支援方法として今後も定額支援を継続する
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	・スポーツ少年団活動を通じて、子供たちがスポーツ活動に取り組める環境が整備されるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成にある程度の効果があった
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・人口減少や少子化の影響による団体数の減少については、ある程度はやむを得ないところがあるため、目標値を見直す必要がある ・団員数の減少は少子化の影響が考えられるが、団員数を維持する取り組みの工夫・強化が必要である
---------------------------------------	---

(参考) H26事業評価結果(二次評価)	・スポーツ活動を通じて、青少年の健全な育成を図る ・スポーツ少年団活動の充実を図る
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する27年度の対応状況	・スポーツ少年団活動の維持・充実のための定額支援を継続していく
------------------	---------------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	・スポーツ活動を通じて、青少年の健全な育成を図る ・スポーツ少年団活動の維持・充実を図る					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	・補助金の効果分析を行う必要がある。					

平成27年度事業評価シート(一般予算) ※26年度予算事業による

事業名	95130	各種体育大会開催補助金			担当課	市民活動部 スポーツ推進課	内線	2357
予算	会計	1	一般会計	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
	款	9	教育費	分野	3	スポーツ		
	項	5	保健体育費	基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる		
	目	1	体育総務費	施策	1	スポーツ活動の充実		
	根拠計画	高山市第三次スポーツ振興基本計画						
実施計画事業	スポーツ大会開催事業・地域スポーツ活動推進事業							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	90,938 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	・全国レベルの大会をはじめ各種大会の誘致により、市民がスポーツにふれあい、取り組みきっかけをつくる ・全国から集う多くの選手に高山の魅力を発信するとともに、交流を促進し地域の活性化を推進する		
概要	事業の実施手法(手段)	・飛騨高山社会人野球大会等の開催支援		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26の実績	飛騨高山社会人野球大会の開催					
	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	開催回数	回	目標値	2	1	1
		算出根拠等		実績値	2	1	1
	成果指標	参加者数(のべ人数)	人	目標値	1,200	500	500
		算出根拠等		実績値	1,200	500	350
				達成率(%)	100	100	70
		算出根拠等					
				目標値			
		算出根拠等		実績値			
				目標値			
		算出根拠等		実績値			
				目標値			
		算出根拠等		実績値			
	補足事項						
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 決算額		
	歳出(千円)		(A)	6,450	850	450	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			4,000			
	一般財源			2,450	850	450	
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	5,375	1,700	1,286	
	受益者	参加者	(B)	1,200	500	350	

3 分析・評価(Check) ※平成26年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	一流の競技スポーツにふれる機会を求める市民ニーズは高い
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・全国レベルのスポーツ誘致は、市民のスポーツに対する関心の高まりやスポーツに取り組みきっかけづくり、地域の活性化等の効果が見込まれる
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	・参加者数がやや減ったことから、市民へのPR強化が必要
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	A	・定額支援によって維持継続されている
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	・全国レベルのスポーツ誘致を通じて、スポーツに関する意識が醸成されるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成にある程度の効果があった
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・大会の継続開催を促進するための定額支援は今後も必要である ・市民へのPRについて手法や効果を検討する必要がある
---------------------------------------	---

(参考) H26事業評価結果(二次評価)	・補助金の効果分析を行い、今後のあり方について検討する必要がある
----------------------	----------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する27年度の対応状況	・既存事業の維持・充実のための定額支援を継続していく
------------------	----------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	・スポーツの推進を図るため、今後も全国規模の大会誘致を検討する					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	・補助金の効果分析を行い、今後のあり方について検討する必要がある。					

平成27年度事業評価シート(一般予算) ※26年度予算事業による

事業名	95135	体育総務事務費		担当課	市民活動部 スポーツ推進課	内線	2357
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
	款	9	教育費		分野	3	スポーツ
	項	5	保健体育費		基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
	目	1	体育総務費		施策	1	スポーツ活動の充実
	根拠計画	高山市第三次スポーツ振興基本計画					
実施計画事業							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	90,938 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	高山市第三次スポーツ振興基本計画の着実な推進を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	スポーツ推進事務		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ推進審議会の開催</li> <li>全国大会等出場者への激励</li> <li>スポーツイベント来高者に対するおもてなし対応</li> </ul>					
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	全国大会等出場者数(激励)	人	目標値	250	250	250
				実績値	243	218	279
				算出根拠等	達成率(%)	97	87
	算出根拠等			目標値			
				実績値			
				達成率(%)			
	算出根拠等			目標値			
				実績値			
				達成率(%)			
	算出根拠等			目標値			
				実績値			
				達成率(%)			
	算出根拠等			目標値			
			実績値				
			達成率(%)				
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 決算額		
	歳出(千円)		(A) 2,418	1,765	2,317		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)		141				
	一般財源		2,277	1,765	2,317		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 26	19	25		
	受益者	全市民	(B) 92,861	92,097	90,938		

3 分析・評価(Check) ※平成26年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・生活様式の多様化や健康志向の高まりなどから、スポーツへの関心は市民ニーズが高い
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・市や関係団体、市民等が一体となって、第三次スポーツ振興基本計画の着実な推進を図る必要があるため、市が事業主体であることは妥当である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・全国大会等出場者数が大きく増加しており、今後の継続効果は大きい
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・コスト削減に努めている
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	・各種取り組みを通じて、誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境が整備されるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の推進にある程度の効果があった
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>より一層のスポーツの普及や競技力の向上を図るため、専門的スポーツ指導者の育成や確保が必要である</li> <li>市民意識高揚のため、今後もスポーツの推進及び普及に努めていく必要がある</li> </ul>
---------------------------------------	--

(参考) H26事業評価結果(二次評価)	・スポーツ指導者育成に向けた支援については、市体育協会との役割分担等に留意しながら検討する必要がある
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する27年度の対応状況	・2020東京オリンピック・パラリンピック開催に向けたスポーツ活動の更なる推進
------------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H26完了	H27完了予定
	・引き続き適正な事務の執行に努めていく					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H26完了	H27完了予定
	・引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。					

平成27年度事業評価シート(一般予算) ※26年度予算事業による

事業名	95230	体育施設維持管理費		担当課	市民活動部 スポーツ推進課	内線	2357
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
	款	9	教育費		分野	3	スポーツ
	項	5	保健体育費		基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
	目	2	体育施設費		施策	2	スポーツ施設の整備
	根拠計画	高山市第三次スポーツ振興基本計画					
実施計画事業	スポーツ施設管理事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	90,938 人
	どのような状態にしたいのか(意図)	体育施設の適正な維持管理により、市民の利用を促進する		
概要	事業の実手法(手段)	指定管理者による施設の維持管理等		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26の実績	指定管理者による施設の維持管理等					
	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	スポーツ施設数	施設	目標値	64	64	64
		算出根拠等		実績値	64	64	64
	成果指標	スポーツ施設利用者数	人	目標値	550,000	550,000	550,000
		算出根拠等		実績値	588,775	509,806	518,000
				達成率(%)	107	93	94
		算出根拠等					
				目標値			
		算出根拠等		実績値			
				目標値			
		算出根拠等		実績値			
				目標値			
		算出根拠等		実績値			
	補足事項						
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 決算額		
	歳出(千円)		(A)	170,812	171,214	177,211	
	受益者負担(使用料・負担金等)			916			
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			169,896	171,214	177,211	
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	290	336	342	
	受益者	施設利用者数	(B)	588,775	509,806	518,000	

3 分析・評価(Check) ※平成26年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・利用者が安全・安心して施設を利用するために適正な維持管理が必要である
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・市有施設の維持管理である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげている	A	・指定管理者制度を導入し、適正な管理のもと、利用者数も安定している
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・指定管理者制度を導入し、利用者へのサービス向上、コスト削減に努めている ・施設の統廃合について検討の必要がある
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・施設の安全な維持管理など、総合計画及び、第三次スポーツ振興基本計画の推進にある程度の効果があった
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・類似した施設や利用度の低い施設の統廃合について検討の必要がある ・施設の老朽化に対応した維持管理を検討する必要がある
--	--

(参考) H26事業評価結果(二次評価)	・体育施設の維持管理については、類似した施設や利用状況の低い施設の統廃合を視野に入れ、施設のあり方を検討していく必要がある
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する27年度の対応状況	・施設の利用状況分析や利用者意見を反映した施設管理の改善・充実を図る
------------------	------------------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	・類似した施設や利用度の低い施設の地元譲渡や統廃合等をすすめる					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	・類似した施設や利用状況の低い施設の統廃合を視野に入れ、施設のあり方を検討していく必要がある。					



平成27年度事業評価シート(一般予算) ※26年度予算事業による

事業名	95235	夜間照明体育施設維持管理費	担当課	市民活動部 スポーツ推進課	内線
	95235				2357
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして
	款	9 教育費		分野	3 スポーツ
	項	5 保健体育費		基本施策	1 誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
	目	2 体育施設費		施策	2 スポーツ施設の整備
	根拠計画	高山市第三次スポーツ振興基本計画			
実施計画事業	スポーツ施設管理事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	90,938 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	地域の社会体育事業を促進するため、夜間におけるスポーツ活動環境を整備する		
概要	事業の実施手法(手段)	小中学校グラウンドの夜間照明施設の維持管理		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26の実績	小中学校グラウンド夜間照明施設の維持管理					
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26
	成果指標	夜間照明施設利用者数	人	目標値	35,000	35,000	35,000
				実績値	32,291	31,477	22,186
				算出根拠等	達成率(%)	92	90
	成果指標	算出根拠等	目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
	成果指標	算出根拠等	目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
	成果指標	算出根拠等	目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
	成果指標	算出根拠等	目標値				
実績値							
達成率(%)							
補足事項							
マイマイガ大発生による「夜間照明の使用自粛のために利用者数が大きく減っている							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 決算額		
	歳出(千円)		(A)	2,533	2,493	2,577	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			2,533	2,493	2,577	
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)	78	79	116		
	受益者	(B)	32,291	31,477	22,186		

3 分析・評価(Check) ※平成26年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・夜間にスポーツ活動をする社会人のニーズは高い
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・市有施設の維持管理である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	・ある程度の目標とする成果は上がっている ・利用期間の拡大を望む意見に対しての検討が必要である
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・利用期間外は通電停止を行うなどコスト削減に務めている ・将来的には照明のLED化による電力削減も検討する必要がある
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・夜間におけるスポーツ環境が確保される等、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成に効果があった
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・利用期間の拡大(4月や12月)について検討する必要がある ・施設の老朽化に伴い、計画的な照明施設の修繕が必要である
---------------------------------------	---

(参考) H26事業評価結果(二次評価)	・施設により層の利用度を図る ・第四次スポーツ振興基本計画の策定に合わせた中期的な照明施設の修繕計画を策定する
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する27年度の対応状況	・施設修繕計画に基づいた施設修繕
------------------	------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	・施設により層の利用促進を図る(利用期間の拡大等の検討)					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	(担当課評価に同じ)					

平成27年度事業評価シート(一般予算) ※26年度予算事業による

事業名	95238	高地トレーニング強化拠点施設活用事業	担当課	市民活動部 スポーツ推進課	内線
	95238				2357
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして
	款	9 教育費		分野	3 スポーツ
	項	5 保健体育費		基本施策	1 誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
	目	2 体育施設費		施策	2 スポーツ施設の整備
	根拠計画	高山市第三次スポーツ振興基本計画			
実施計画事業	飛騨御嶽高原ナショナル高地トレーニングエリア推進事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	90,938 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	ナショナルトレーニングセンター高地トレーニング強化拠点施設の指定を踏まえ、医学的サポート機能をはじめとするトレーニング環境を整備し、スポーツ振興との地域の活性化を促進する		
概要	事業の実手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>高地トレーニング強化拠点活用事業の実施(国の委託事業)</li> <li>飛騨高山御嶽トレーニングセンターの維持管理</li> <li>飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアの利用促進</li> </ul>		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>高地トレーニング強化拠点活用事業の実施(国の委託事業)</li> <li>飛騨高山御嶽トレーニングセンターの維持管理</li> <li>飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアの利用促進</li> </ul>					
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26
	成果指標	高地トレーニング施設利用者数	人	目標値	20,000	20,000	20,000
				実績値	16,149	14,819	16,576
				算出根拠等	達成率(%)	81	74
	成果指標	算出根拠等	目標値				
			実績値				
			算出根拠等	達成率(%)			
	成果指標	算出根拠等	目標値				
			実績値				
			算出根拠等	達成率(%)			
	成果指標	算出根拠等	目標値				
			実績値				
			算出根拠等	達成率(%)			
	補足事項						
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 決算額		
	歳出(千円)		(A)	18,051	19,382	35,639	
	受益者負担(使用料・負担金等)			1,836	2,198	1,858	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			2,441	2,247	4,343	
	一般財源			13,774	14,937	29,438	
	コスト指標		受益者1件当たり円(A/B)	1,118	1,308	2,150	
	受益者	利用者数(B)	16,149	14,819	16,576		

3 分析・評価(Check) ※平成26年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・2020東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、高地トレーニングに対する需要の高まりを受けて、国内外からの利用者受け入れ機能を高める必要がある
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・ナショナルトレーニングセンター高地トレーニング強化拠点施設であり、県や下呂市との連携を図りながら、市が主体的に取り組む必要がある
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	・エリア利用者数は目標に対して少ないが、今後更なる利用促進に努める ※H25は、施設改修の影響で少なくなっている
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	指定管理者制度の導入など検討の余地がある
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアの整備により、スポーツの振興と地域の活性化が図られるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の推進にある程度の効果があった
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 10	→	100点換算	70 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にすることを何が必要なのかを記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、高地トレーニング環境の更なる整備と利用促進を図る必要がある</li> <li>・飛騨高山御嶽高地トレーニングセンターの指定管理制度導入の検討の余地がある</li> </ul>
--	---

(参考) H26事業評価結果(二次評価)	・高地トレーニング施設については、さらなる利用率の向上とコスト面における効率化を進める必要がある
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する27年度の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高地トレーニングエリア環境の整備と利用促進</li> <li>・飛騨高山御嶽トレーニングセンターの指定管理制度導入の検討</li> <li>・国や県、JOC機関との連携強化</li> </ul>
------------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	○	拡大		縮小		廃止の検討		H26完了	H27完了予定
	・高地トレーニング環境の更なる整備と利用促進を図る									

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	○	拡大		縮小		廃止の検討		H26完了	H27完了予定
	・高地トレーニング施設については、さらなる利用率の向上とコスト面における効率化をすすめる必要がある。 ・県や下呂市との役割分担等を調整し、市としての整備計画を早急に策定する必要がある。									



平成27年度事業評価シート(一般予算) ※26年度予算事業による

事業名	95240	体育施設改修整備事業費		担当課	市民活動部 スポーツ推進課	内線	2357
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
	款	9	教育費		分野	3	スポーツ
	項	5	保健体育費		基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
	目	2	体育施設費		施策	2	スポーツ施設の整備
	根拠計画	高山市第三次スポーツ振興基本計画					
実施計画事業	スポーツ施設整備事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	90,938 人
	どのような状態にしたいのか(意図)	誰もが安全で快適に利用できるスポーツ環境を整備する		
概要	事業の実施手法(手段)	施設の改修整備		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26の実績	・中山公園陸上競技場備品購入、岡本テニスコート夜間照明改修工事ほか					
	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26
	算出根拠等			目標値			
				実績値			
	算出根拠等			達成率(%)			
				目標値			
	算出根拠等			実績値			
				達成率(%)			
	算出根拠等			目標値			
				実績値			
	算出根拠等			達成率(%)			
				目標値			
	算出根拠等			実績値			
				達成率(%)			
	算出根拠等			目標値			
実績値							
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			実績値				
			達成率(%)				
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 決算額		
	歳出(千円)		(A)	47,422	39,351	26,110	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			11,025	4,400	8,500	
	一般財源			36,397	34,951	17,610	
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)	81	77	50		
	受益者	施設の利用者数	(B)	588,775	509,806	518,000	

3 分析・評価(Check) ※平成26年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・施設の利便性の向上や安全性の確保に対する市民のニーズは高い
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・市有施設の改修整備である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	評価対象外	・施設の改修整備事業であり、事業内容が多岐にわたるため、指標の設定が困難である
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・計画的整備改修を行い、ある程度コスト削減を図っている
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・施設の改修整備により、利便性の向上や安全性の確保が図られるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の推進にある程度の効果があった
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 8	→	100点換算	88 点
----	-------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・施設の利便性の向上や安全性の確保に向けて、計画的に改修整備を行う必要がある ・施設の老朽化対策として計画的に改修整備を行う必要がある
--	--

(参考) H26事業評価結果(二次評価)	・競技人口のバランスを配慮した施設整備を行う必要がある ・将来負担や財源を考慮した適正な施設修繕計画を策定する必要がある
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する27年度の対応状況	・施設の利便性の向上や安全性の確保に向けた改修整備
------------------	---------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	・非構造部材の耐震診断結果及び国の指針等に基づいた適正な施設修繕計画を策定する ・施設修繕計画に基づき改修整備を実施する					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	・競技人口のバランスを配慮した施設整備を行う必要がある。 ・将来負担や財源を考慮した適正な施設整備計画を早急に策定する必要がある。					

平成27年度事業評価シート(一般予算) ※26年度予算事業による

事業名	95245	体育施設管理事務費		担当課	市民活動部 スポーツ推進課	内線	2357
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
	款	9	教育費		分野	3	スポーツ
	項	5	保健体育費		基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
	目	2	体育施設費		施策	2	スポーツ施設の整備
	根拠計画	高山市第三次スポーツ振興基本計画					
実施計画事業	スポーツ施設管理事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	90,938 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	体育施設を適正に管理運営する		
概要	事業の実施手法(手段)	管理事務		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26の実績	・施設管理事務					
	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26
				目標値			
				実績値			
	算出根拠等			達成率(%)			
				目標値			
				実績値			
	算出根拠等			達成率(%)			
				目標値			
				実績値			
	算出根拠等			達成率(%)			
				目標値			
				実績値			
	算出根拠等			達成率(%)			
	補足事項						
公衆トイレ管理経費が他事業へ移され、事務的経費のみとなり、成果等指標を示す意味がない							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 決算額		
	歳出(千円)		(A)	8,820	8,388	223	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			8,820	8,388	223	
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	94	42	2	
	受益者		(B)	93,881	92,097	90,938	

3 分析・評価(Check) ※平成26年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・施設の利用促進を図り、市民の健康増進を図るためには、適正な維持管理が必要である
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・市有施設の管理事務である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	評価対象外	・施設の管理事務であり、指標の設定が困難である
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・コスト削減に努めている
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・適正な管理運営により、安全で安心して利用できるスポーツ環境が整備されるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の推進に効果があった
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 8	→	100点換算	88 点
----	-------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・コスト削減を図りながら、施設を適正に管理する必要がある
--	------------------------------

(参考) H26事業評価結果(二次評価)	・コスト削減を図りながら、施設を適正に管理する
----------------------	-------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する27年度の対応状況	・施設を適正に管理する
------------------	-------------

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	・コスト削減を図りながら、施設を適正に管理する					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	(担当課評価に同じ)					